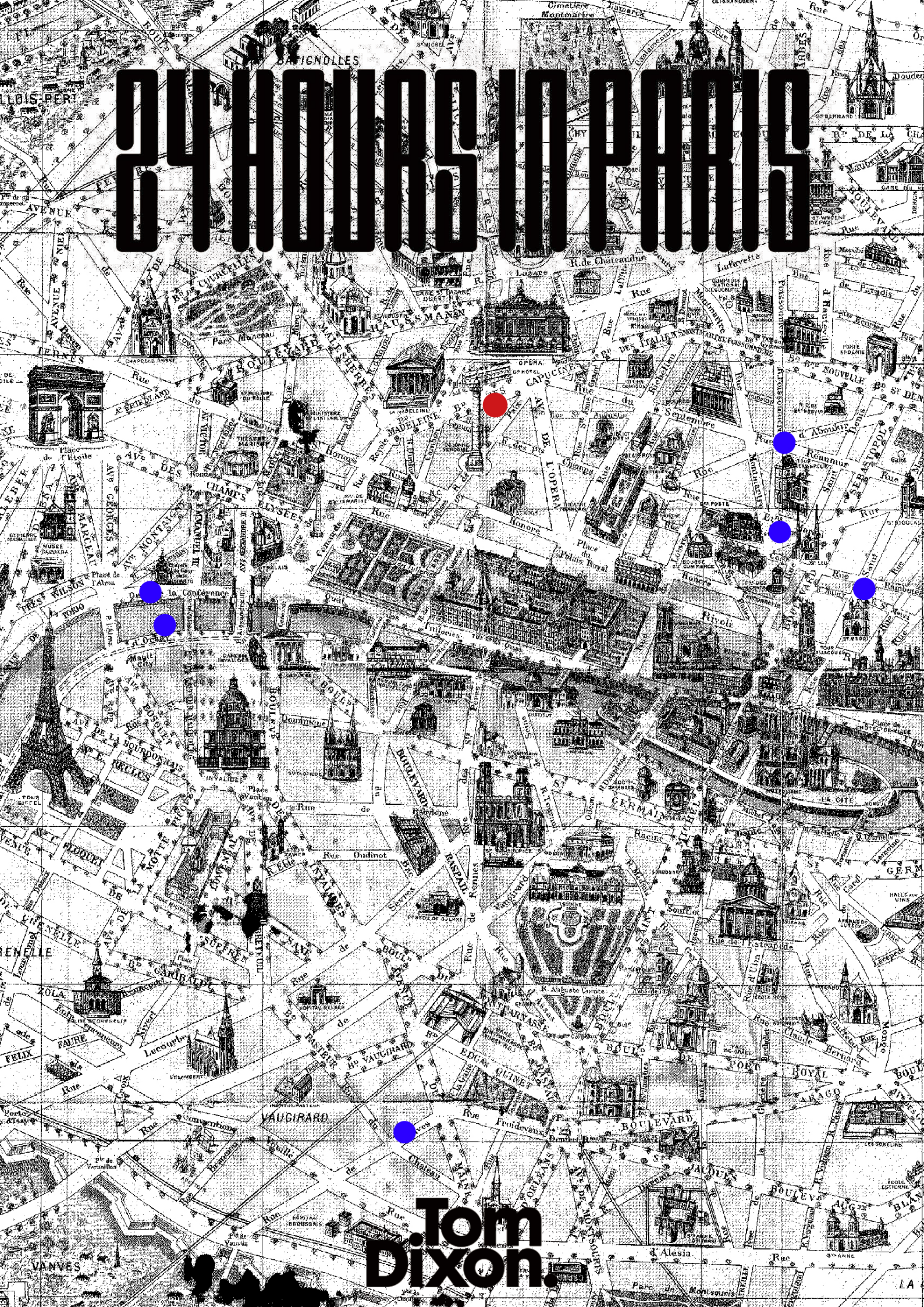


24 HOURS IN PARIS



**Tom
Dixon.**

Tom Dixon.

24 HOURS IN PARIS

1月20日(月) パリの各所を舞台に24時間 新作発表イベントを開催



イギリスを拠点に活躍するデザイナー、トム・ディクソンは、2020年1月20日（月）、パリ市内を舞台に、会場やプレゼンテーションを変え、24時間かける新作発表『24 Hours』を行います。インテリアアクセサリ「PRESS」と「SWIRL」コレクションの新作をお披露目します。

当日は、Le Drugstoreにおいて行われる朝食会を皮切りに、Publicis Cinémasでの新作プレゼンテーション、Assaf Granitがシェフをつとめる話題のレストランShabourにて昼食会、そしてHotel des Grands Boulevardsのルーフトップバーでのドリンクパーティーと、パリで昼夜を問わず24時間通してイベントを開催します。新作は、今回行われるイベントの主会場で展示されます。

また、パリを拠点に活躍するフローリストDebeaulieu が、新作コレクションの花器に、美しいフラワーアレンジメントを行います。

各セッションへの参加申込みは下記よりお願いいたします。

<https://www.eventbrite.com/e/24-hours-in-paris-tickets-85608283681>

詳細はこちらよりご覧ください。随時最新情報をお届けします。

Instagram: <https://www.instagram.com/tomdixonstudio/>

ハッシュタグ: #24PARIS

ウェブサイト: <https://story.tomdixon.net/24paris>

PARTNERS



トム・ディクソン コメント

『長年にわたりメゾン・エ・オブジェ本会場で商品発表を行ってききましたが、既存のお客様、新たなお客様双方に向けた、今までよりも可動型でフレキシブルなアプローチが必要であると考えてきました。『24 Hours in Paris』では、限られた24時間の中に、イベントとしての楽しさに加え、ビジネス面でも「面白さ」を詰め込み、このイベントを通じて我々が注ぎ込めるもの全てを投入しようと考えています。

私はパリを愛している。その気持ちは、私に複数の新しいパーソナリティーを生み出しました。革新的なことを考えるとき、グルメのことを考えるとき、アートギャラリーに行くとき、散歩する時、朝食を食べている時、料理をしている時…例えばこんな時はフランス人になった気がしています。楽器を奏でている時やデザインをしている時は、イギリス人である自分が前面に出ています。

今後、この『24 Hours』を、ミラノ、上海、ロンドン、コペンハーゲン、バンコク、南京、メルボルン等、世界中の都市で展開したいと考えています。』

イベント会場

Debeaulieu | ドゥボーリユー <https://www.debeaulieu-paris.com>

2013年、ピガールの南にオープンしたフラワーショップ。フランス語で“美しい場所”を意味し、高級メゾンブランドのショールームやコレクションを彩っている。

le drugstore | ル・ドラッグストア <https://www.publicisdrugstore.com/fr/le-drugstore>

1960~70年代に、当時は珍しかった、年中無休で深夜まで薬、お酒、タバコなどを購入できる伝説のスポットが、2017年にリニューアルオープン。館内のブラッセリーの内装をトム・ディクソンが担当した。3ツ星シェフ、エリック・フレッシュがシェフをつとめる。

Shabour | シャブール <https://www.restaurantshabour.com>

2019年12月にオープン。イスラエル料理の国際的なトップシェフ、Assaf Granit | アサフ・グラニによるレストランでオープンしたばかりながら早くも高い注目を集める革新的なレストラン。*Assaf Granitは、ロンドンにあるTom Dixonの拠点COAL OFFICE RESTAURANTのシェフもつとめる。

Hotel des Grands Boulevards | オテル デ グラン ブルバード <https://www.grandsboulevardshotel.com>

フランス革命の少し前、18世紀に建築された個人邸宅を改装し、2018年オープンした人気ホテル。インテリアはDorothee Meilichzonが担当。

新作紹介

PRESS | プレス (写真左)

新作コレクション。ひだ状のくぼみが重厚でインダストリアルな雰囲気を出し、大胆なシルエットと簡素な機能美が特徴のガラスアクセサリ。澄み切った透明感と厚みをあわせもつガラスをコイル状に巻いて成型したようなデザイン。ラインアップは花瓶、ボウルやキャンドルホルダーによって構成されるコレクションで、外から差し込む光を取り込み屈折させることで、眩い光を放ちます。摂氏1200℃に熱し、液体状にしたガラス原料を幾つかの金型に分け冷却、成形することで、どこか親しみのあるシルエットが実現しました。

SWIRL | スワール (写真右)

人気のスワールコレクションに日本の伝統的な生け花からインスピレーションを得て誕生した一輪挿しや大小の花瓶が新たに加わりました。イタリアのポストモダニズムを持つ、美的センスや鋭い感性を、トム・ディクソンが持つサイケデリックなデザインフィルターを通すことで生まれたコレクション。幾何学的な物体を組み上げていくことで、多層的で機能的な造形美が作りだされています。大理石の加工場で発生する粉体上の端材に顔料や樹脂を混ぜ合わせ、ブロックとして成型されたものを加工し、新たなオブジェとして再生しています。



「Tom Dixon」ブランドについて

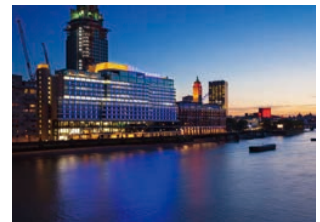
「Tom Dixon | トム・ディクソン」は、照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリーなど、約600点を展開するデザイナー、トム・ディクソンが主宰するイギリスのインテリアブランドです。2002年のブランドスタート以降、独創的なミラーを使った照明シリーズや、一点モノのアート作品にも近い斬新なプロダクトを数々発表。代表作のひとつである「Sチェア」は、MoMA(ニューヨーク近代美術館)の永久コレクションにも選ばれるなど、世界中のデザイン界で高い人気を集めてきました。また、最近では、商業施設の内装や建築デザインなどのプロジェクトも世界中で進めており2014年には、ロンドンを中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、建築デザイン業界においても高い評価を得ました。2015年7月には、「Tom Dixon」ブランドの“日本初”となるオンラインショップをオープン。ウィングバックチェアやビートライトシリーズなどの代表作はもとより、照明、チェアやホームアクセサリーなど、洗練されたプロダクトを販売しています。スタイリッシュな店内も、トム・ディクソン自身が空間プロデュースに携わっており、同ブランドの世界感を存分にお楽しみいただける空間となっています。

Tom Dixon | トム・ディクソン プロフィール

1959年チュニジア生まれ。デザイナー。

2002年に「TOM DIXON Ltd.」を設立。照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリーを展開するイギリスのインテリアブランド「Tom Dixon」をスタート。素材そのものの特徴を生かした独創的な創作手法は、一種異端的、且つ工業的なアプローチを体現するものであり、その表現方法は一見英国的な側面を持ちながらも、奇抜でユニークな部分を兼ね備えています。代表作のウィングバックチェア、ビートライトシリーズなど斬新なプロダクトを生み出し、独自の地位を確立してきました。2000年にはその功績が讃えられ大英勲章を受勲。2014年には欧州のライフスタイル見本市で最大の規模を誇る「MAISON & OBJET (メゾン・エ・オブジェ)」のデザイナー・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、また最近では「ELLE DECORATION BRITISH DESIGN AWARD 2019」を受賞するなど、現在ヨーロッパで最も注目されているデザイナーの一人です。

また、空間構築の分野でもトム・ディクソンのデザイン・エッセンスをより高いレベルで表現するために、2002年「Design Research Studio | デザイン・リサーチ・スタジオ」をロンドンに設立。商業施設の内装、大規模装飾物、建築デザイン等のプロジェクトを英国及び世界中で、独創的なデザインを求めるクライアントと共に展開し、その活動領域を拡げています。2014年には、ロンドン中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、世界で高い評価を受けています。

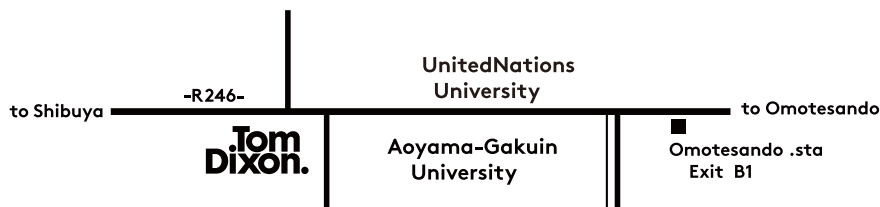


TOM DIXON SHOP | トム・ディクソン ショップ

Address : 東京都渋谷区渋谷2-1-13 1F

Contact : 03-5778-3282 info@tomdixon.jp

Opening Hours : 11:00~19:00 Close : 水曜日 夏季/年末年始



商品に関するお問合せ先

TOM DIXON SHOP | トム・ディクソン ショップ Address : 東京都渋谷区渋谷2-1-13 1F

E-MAIL : info@tomdixon.jp TEL : 03-5778-3282

掲載に関するお問合せ先

TOM DIXON Japan PR OFFICE/HOW INC. Address : 東京都港区南青山2-22-14 フォンテ青山401

E-MAIL : tomdixon@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405 FAX : 03-5414-6406